

- 身近な開かれた議会をめざして -

第1回

町議会報告懇談会 報告書

実施月日 平成22年11月9日（火）

出席者数 72名



上富良野町議会では、上富良野町自治基本条例第4章「議会の役割と責務」を实践する立場から第1回町議会報告懇談会を平成22年11月9日に開催しました。

会場は、郡部2会場（富原会館・草分防災センター）、市街2会場（セントラルプラザ・社会教育総合センター）の4会場で、72名の町民の皆様が出席され実施しました。

議員14名が2班にわかれ、各班が郡部1会場、市街1会場を分担し、郡部は13時30分から、市街は18時30分から開会しました。

事前に住民会長さん、町内会長さんに「町政・町議会のここが聞きたい」「要望・意見」について依頼し、8住民会から貴重な意見・要望をいただきました。

提出されました「町政・町議会のここが聞きたい」は、町理事者と議会の回答を掲載し、皆様にお知らせします。

上富良野町議会

『町政のここが聞きたい
地域の課題と要望意見の回答』

農業振興について

問 高温多雨の異常気象で、農業は壊滅的な未曾有の年となった。

答 後継者不足と、高齢化が加速し、さらに不作物・耕作放棄地が増えている。基幹産業の農業が良くなないと町に元気が戻らない。来年に向けて農業者は不安であるので町の方角性を示して。

答 農協と共に、被害農業者の希望者に、年末に向けての資金融資の利子補給と、集中豪雨被害に対し基盤整備の補助施設を検討しています。

後継者不足・高齢化の加速など厳しい状況であります。本年度は水田農業者に対し戸別補償の実施、来年度からは畑作を含め全農業者に対し戸別補償が実施されるので、農業者の大きな活力となると期待しています。

また、不作物や耕作放棄地の増加が懸念されている中で、町では来年度から中山間地域等直接支払制度を活用し、農業者と共に農地の環境保全などの地域活動の推進に向けているところです。

道路・河川の整備について

問 東8線道路、18号から19号までの道路改修を。

答 維持管理を含めて計画的に実施していきます。

問 デボツナイ川上流の改修工事を。

答 上流（支流）部は現場の実態を把握したうえで判断します。

問 基線道路の路面清掃を実施して。

答 道路ハトール活動の中で努力します。

問 基線道路は交通量が非常に危険

なので、安全のために自転車を通れるスペースの設置を。

答 道路交通法上、自転車でも歩道通行ができるのは、13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者及び身体の不自由な方となっております。

問 丘町地域の25号道路農地に入ってから、東3線道路の上高第2グラウンド側の側溝整備を。

答 現場の状況を見て、関係住民会と協議します。

問 車両運転手や自転車を利用している方などへの交通安全啓発に努めます。

答 丘町地域の25号道路農地に入ってから、東3線道路の上高第2グラウンド側の側溝整備を。

問 現場の状況を見て、関係住民会と協議します。

答 車両運転手や自転車を利用している方などへの交通安全啓発に努めます。

問 東3線道路の上高第2グラウンド側の側溝整備を。

答 現場の状況を見て、関係住民会と協議します。

問 現場の状況を見て、関係住民会と協議します。

答 現場の状況を見て、関係住民会と協議します。



問 本町地域の春の融雪時に発生する道路凹凸の解消を。

答 その解消に努めてきましたが、今後とも計画的に進めます。

問 東明地域の道路側溝は、30年前に資材は町で負担し、工事は町内会で施工したが、現在、側溝が浮いてしまっている。計画的な整備を。

答 年数が経過し、機能低下の実態に感じて計画的な実行計画に努力します。

問 鳥津地域の基線道路に街路灯設置を。

答 各交差点以外については、町総体の中で検討します。

問 電気料の負担軽減と二酸化炭素削減の地球環境保護のため、生活灯のLED化を。

答 国の補助制度を導入して、LED照明への転換を図る事業実施

問 旭町の空き教員住宅周辺の雑草等を含め環境整備を。

答 周辺に迷惑にならないよう、学校側とも連携し環境美化に努めます。

問 旭町の空き教員住宅周辺の雑草等を含め環境整備を。

問 東明官舎跡地が町の雪置き場になっており、春の雪解け水が道路や畑に流れているので3月に処理してほしい。

答 周辺の配慮に努めます。

問 本町地域にある公園等のフェンスの改修とペンキ塗り替えを。

答 計画的に整備を進めます。

問 緑地公園に看板を設置し、車の乗り入れがないように。

答 来年度に実施できるように取り組みます。

問 粗大ごみ、特に電化製品等の不法投棄があるが、行政での対策は。

答 法律に違反するたため町では過去に不法投棄された箇所をパトロールし、防災無線と広報で不法投棄をしないよう周知しています。

問 旭町の空き教員住宅周辺の雑草等を含め環境整備を。

答 周辺に迷惑にならないよう、学校側とも連携し環境美化に努めます。

問 旭町の空き教員住宅周辺の雑草等を含め環境整備を。

その他の要望意見

問 移住定住対策を積極的にして人口増

答

内部にプロジェクトチームを編成し協議を重ねており、早期に具体的な取り組みプランを持ち合わせたい。

問 日の出公園に大型イベントの対応を含めた駐車場の整備を

答

日の出公園に隣接していることが理想と考えるが、今後は公園のあり方を含め、町民から広く意見を聞き、中長期的な視座を立てて見定めていきたい。

パークゴルフ・ゲートボール場にAEDの設置を。

答

未設置施設について計画的に設置します。

問

答

公共施設の耐震対策を。耐震化に向けた改

町民皆様の要望意見を、町長に申し入れました

町長に申し入れました

農業支援において種子の助成検討と無担保の融資資金を

江花道路の歩道延長を

宮町地域の歩道整備を

多田弾薬支処に通じる道路の除草を

南町地域の北24号道路は交通量が多いため歩道設置を

道々吹上上富良野線の市街地部分の街路

灯の増設を

畜産施設から夏場に発生する異臭対策を

商業の中心が線路から東方向に集中しているため、西側地域の高齢者等の買い物対策を

地域に地域担当として職員を充ててほしい

町内会等の回報発行を推進すべきでは

機構改革で高齢者

対策の担当職員の

増員を

東明会館を住民会

で管理しているが、

利用量が多いため

維持管理費について

検討を

駐屯地からの大砲

音の対応を



『町議会のここが聞きたい』

要望意見の回答

問 議員定数は1千人に1人との意見を

聞くが、議員定数と報酬は全道及び上川管内ではどうか。

答 議員定数は地方自治法により、人口

1万人以上2万人未満の町村の「法定定数は22人以上」となっています。

「町の条例による議員定数」は昭和42年選挙では20名でしたが、行財政改革として平成15年選挙

で2名削減の18名、平成19年選挙で4名削減の14名に、議員提案で定数

条例改正を行いました。

全道の当町と人口類似町の議員定数と報酬は『別表』のとおりで、

10町の平均定数は15名で、当町の定数は平均より1名少ない14名です。

上川管内町村の議員定数・報酬は『別表』のとおりで、管内で人口が1

番多い当町の状況がわかります。人口1千人に1人とのことですが、全道の議員定数12名の町は25町で人口が5千人から7

千人の町が多い実態にあります。

会場で出された意見

議会は使命感をもって活性化してほしい。

町を良くするため、町民が評価する議員になってほしい。

人口千人に1人の議員との意見があるが、今回の資料を見たことがない。地域に町議がないため聞く機会がないので、この様な資料を出せば問題は無い。

議員の海外研修成果を町に取り入れるのは至難の業であるので、国内の行政調査を活かす努力をすべきである。

議会全体としての報告会は大変良いが、議員個人としてもやるべきではないか。

民意の反映には、議員定数を減らすべきではない。そのため、民意の反映に努めてほしい。

別表 全道の上富良野町と人口類似町の議員定数と報酬

町名	人口（H21.3.31住基台帳より）[人]	議員定数 [名]	報酬月額 [円]		
			議長	副議長	議員
せたな町	10,107	16	223,000	180,000	156,000
長沼町	12,168	16	304,000	243,200	195,000
美瑛町	11,605	14	309,000	244,000	201,000
斜里町	12,846	14	291,000	234,000	190,000
洞爺湖町	10,518	18	284,000	233,000	185,000
むかわ町	9,919	16	265,000	210,000	177,000
清水町	10,366	13	275,000	219,000	183,000
厚岸町	11,014	16	減 257,800	減 208,200	減 173,700
白糠町	9,934	13	減 243,200	減 195,200	減 152,800
枝幸町	9,936	14	280,000	210,000	175,000
10町の平均		15	273,200	217,660	178,850
上富良野町	12,071	14	275,000	205,000	170,000

報酬月額の欄で〔減〕とあるのは、報酬減額条例適用による報酬額（期間を限度）です。

別表 上川管内町村の議員報酬・人口・議員定数

人口段階区分	町村名	報酬支払方法	議員報酬等 [円]				議員定数 [名]
			議長	副議長	議員	人（H21.3.31住基台帳）	
A	占冠村	月額	225,000	170,000	140,000	1,259	8
	音威子府村	月額	191,000	142,000	123,000	879	6
B	比布町	月額	225,000	170,000	150,000	4,271	11
	愛別町	月額	232,000	179,000	158,000	3,528	10
	南富良野町	月額	240,000	191,000	161,000	2,876	9
	和寒町	月額	246,000	195,000	170,000	4,069	10
	剣淵町	月額	231,000	182,000	159,000	3,741	10
	下川町	月額	260,000	208,000	175,000	3,788	8
	中川町	月額	225,000	167,000	140,000	1,898	8
C	鷹栖町	月額	250,000	190,000	165,000	7,600	12
	東神楽町	月額	242,000	189,000	163,000	9,433	12
	当麻町	月額	237,000	184,000	160,000	7,396	12
	上川町	月額	276,700	231,500	199,500	4,403	11
	東川町	月額	254,000	197,000	170,000	7,783	14
	中富良野町	月額	245,000	187,000	160,000	5,648	12
	美深町	月額	250,000	200,000	175,000	5,158	13
D	美瑛町	月額	309,000	244,000	201,000	11,105	14
	上富良野町	月額	275,000	205,000	170,000	12,071	14
上川	町村数		18	18	18		
	小計		4,413,700	3,415,000	2,939,500		
	該当平均		245,205	190,638	163,305		

別表 ・ の表は平成22年6月1日現在(北海道町村議会議長会調べ)

お礼のことば

この度、第1回町議会報告懇談会を開催したところ、町民の皆様におかれましては時節柄何かとご多用にも関わらず、多数のご参加をいただき、心よりお礼申し上げます。さらに、数々の「町政・町議会への意見要望・地域の課題」等について貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございました。また、各会場でのアンケート調査においても、行政・議会に対し貴重なご意見をいただき、深く感謝いたします。

今後の、議会の機能向上と活性化・情報提供を

上富良野町議会議長 西村 昭教

平成23年2月10日